

令和7年12月22日

1F教育相談室 午後3時00分

令和7年度 朝霞市立朝霞第二中学校 第4回 学校運営協議会

1. 開会の言葉および諸連絡（本日の予定等）
2. 会長あいさつ
3. 校長あいさつ
4. 協議
 - (1) 2学期の学校運営について
 - (2) 本年度後半の行事予定について
 - (3) 学校運営協議会における取組について
 - (4) その他
5. その他（諸連絡）
6. 次回の学校運営協議会について
令和8年2月末日（予定）
7. 閉会の言葉

朝霞市立朝霞第二中学校 令和7年度学校運営協議会

熟議ワークショップ 報告書

●実施概要

日時：令和7年8月26日（木）14時～16時

場所：東洋大学朝霞キャンパス1号館3階1301教室

対象：朝霞第二中学校教職員（原則全員参加）、学校運営委員会委員

※保護者と教師の会役員にお声かけしたものの参加なし

詳細：協力員の皆様と取り組む「熟議」フライヤー（資料参照）

●事前アンケート及び熟議テーマ

熟議テーマを絞り込むための事前アンケートを実施し、その結果を分析した上で熟議テーマを設定（アンケート結果報告及び当日次第資料参照）

前半テーマ（現状の整理・共通理解）

「生徒のよさをさらに伸ばすために、学校・家庭・地域でできること」

- ・共通の強み＝挨拶・礼儀・明るさ・部活動の活発さ
- ・学校に任せきりにせず、保護者・地域がどう関わるかを考える

後半テーマ（改善に向けた具体策）

「保護者・地域とのつながりを強め、協力を広げるにはどうすればよいか」

- ・共通の課題＝一部の無関心、交流機会の不足、地域の高齢化
- ・協議会としてできるのは、「接点を増やす」「情報を広げる」など、身近で実行可能な工夫

●熟議の成果発表（発表順）

第1グループ



本グループでは、前半テーマである「生徒のよさをさらに伸ばすために、学校・家庭・地域でできること」について意見を出し合いました。

まず、生徒の強みとして、学校の取組からは部活動の活発さや挨拶のよさが多く挙げられました。地域の立場からは、部活動の指導や日常の見守りなど、地域の大人が生徒に関わる機会の大切さが共有されました。また、家庭においては、学習を見守ることや、保護者同士のつながりを深めることが生徒の成長につながるという意見が出されました。

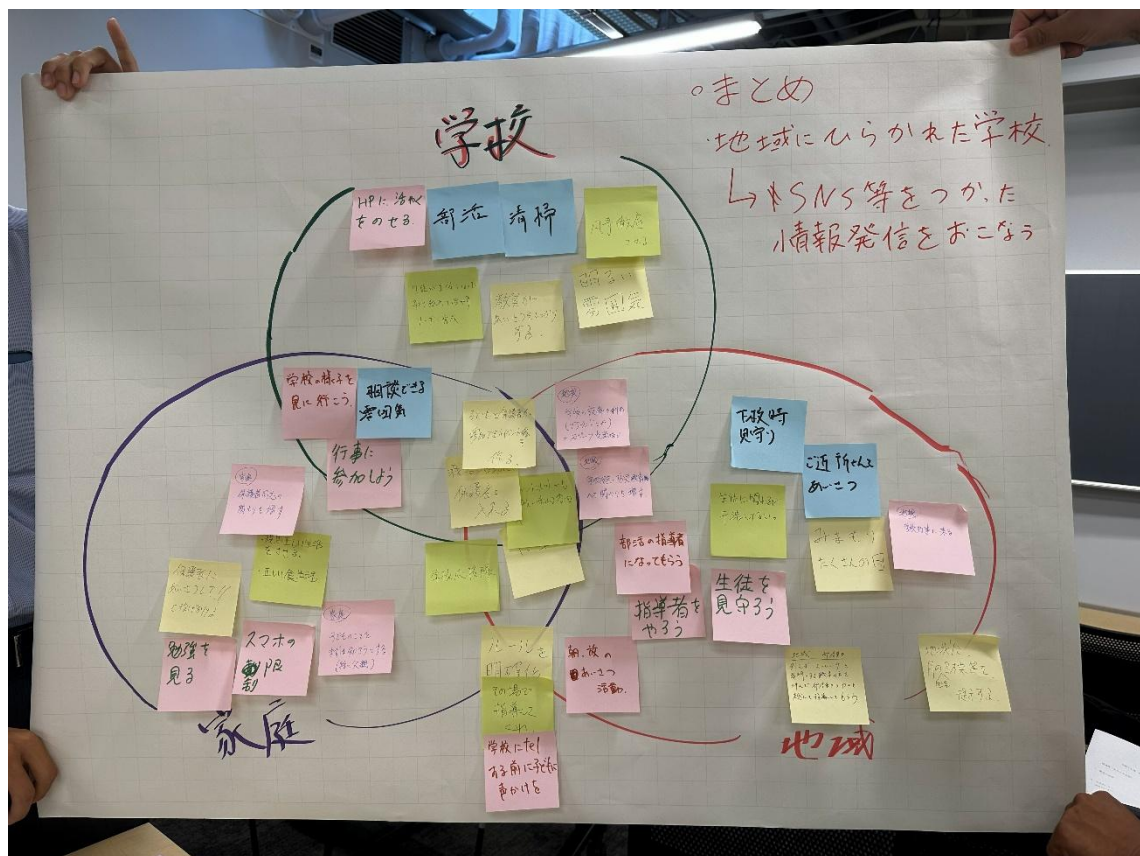
話し合いを進める中で、学校・家庭・地域が交わる共通点として、保護者や地域の方が参加できる行事やイベントの存在が重要であるという認識に至りました。特別な行事に限らず、日常的に関われる仕組みがあれば、地域と家庭のつながりがより強まるのではないか、という意見がまとまりました。

後半テーマでは、「地域に開かれた学校」を目指すための具体策として、SNS等を活用した情報発信が提案されました。学校の取組や生徒の様子を、教

職員だけでなく、PTAや支援員など多様な立場の協力を得ながら発信することで、家庭や地域とのつながりを広げていけるのではないかと考えています。

一方で、情報発信にあたっては、どこまで情報を公開するか、生徒の安全をどう確保するかといった課題も指摘されました。開かれた学校づくりと安全配慮のバランスについて、さらに検討を深める必要があるという共通認識が生まれました。

最終的には、「学校で今、どのような教育活動や指導が行われているのかを、適切な形で家庭・地域に伝えていくことが、信頼関係と協力体制の強化につながる」という方向性で、本グループの熟議はまとめられました。



第2グループ



本グループでは、まず学校・家庭・地域それぞれの現状について意見を出し合いました。その中で、生徒たちは制服や学校行事を通して「中学生であること」は分かるものの、地域の大人同士がお互いの顔や関係性を十分に知らない現状があり、そこに一部の「無関心」が生まれているのではないか、という問題意識が共有されました。

この状況を踏まえ、「無関心の反対は何か」を考えた結果、キーワードとして「愛をもって関わること」が挙げられました。学校・家庭・地域の三者が、思いやりや関心をもって関わるのが、生徒の良さを伸ばす上で最も大切である、という共通認識に至りました。

具体的な取組としては、地域や学校を巻き込んだ文化祭のような行事を再び実施できないかという提案が出されました。既存の地域行事（祭りなど）と連動させ、保護者が出店したり、部活動単位で関わったり、地域の方にも参加してもらうことで、生徒・保護者・地域が自然に接点をもてる場をつくることができるのではないかと、という意見です。

第3グループ



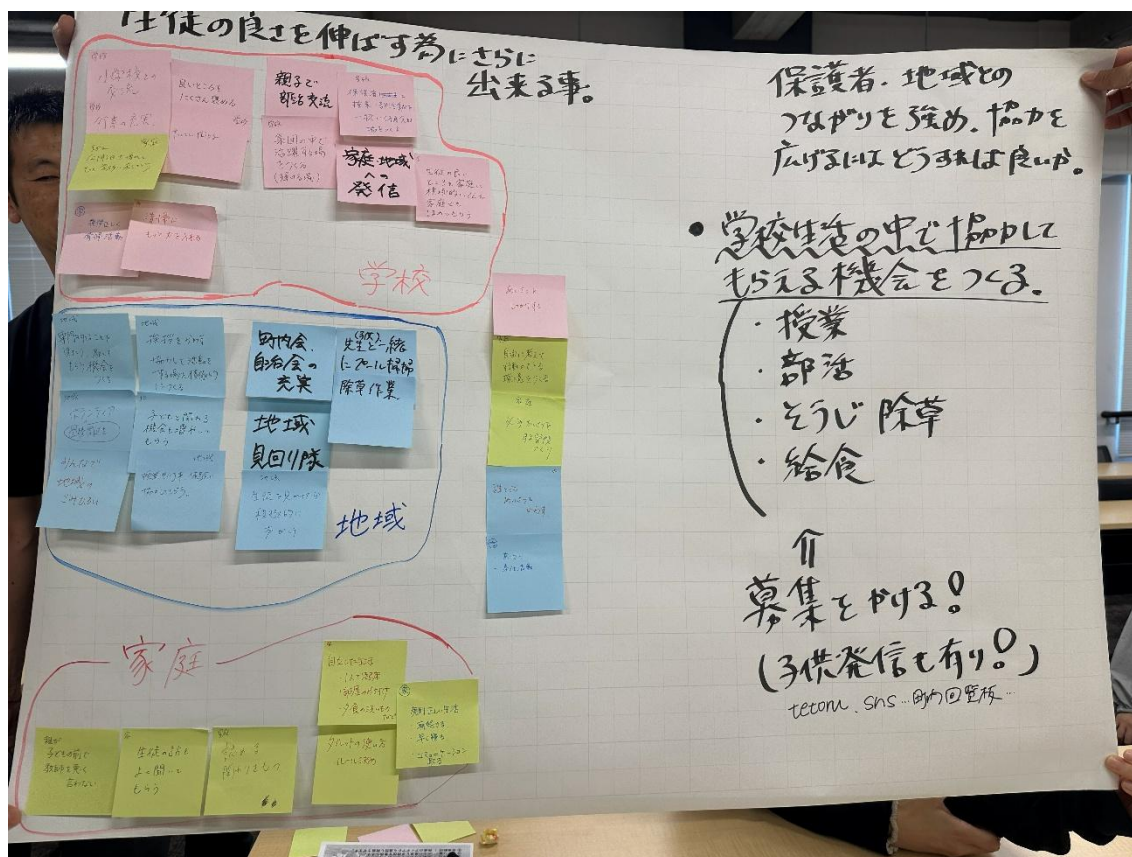
本グループでは、これまでの発表と方向性を共有しつつ、「生徒の良さを伸ばすために、実際に何ができるのか」を、理想と現実の両面から検討しました。地域の立場として理想的な関わりを思い描きながらも、どのように実現するかという具体性を意識して話し合いを進めました。

まず共通認識として、生徒と関わる大人の数や時間を増やすことが、生徒の成長につながるのではないかという意見が出されました。そのために学校ができることとして、関わりの「場」を意図的に設定し、継続的に発信していくことの重要性が挙げられました。清掃活動やSNSの適切な使い方など、これまで学校が行ってきた取組を継続しつつ、家庭や地域を巻き込んだ形に広げられないかという視点で議論が行われました。

地域の役割としては、町内会・自治会活動の充実、地域による見守り、ボランティア活動などが挙げられました。特に、教職員と地域が一緒に取り組む清掃活動や環境整備など、共に汗をかく活動を通して関係性を深められないか、という意見が出されました。家庭については、家庭内での関わりを大切にしながら、学校と同じ方向性（同じベクトル）で生徒を支えていくことの重要性が確認されました。

後半テーマである「協力を広げるための工夫」については、新たな行事を増やすことの難しさにも言及がありました。働き方改革の影響などから、教職員の負担増につながる取組は現実的ではない場合もあるため、新規事業ではなく、今ある学校生活の中に地域や家庭が関われる仕組みを組み込むという考えが示されました。

具体例として、授業や作業活動の場面で地域の方が参観したり、一緒に活動したりすること、英語の授業でインタビュー相手として関わること、清掃活動や給食を通じた食育への協力など、日常の教育活動の中での自然な関わりが提案されました。中学生の日常を知り、その中で力を合わせることで、相互理解につながるという意見です。



さらに、情報発信の工夫として、SNSの活用や、町内会の掲示板など既存の媒体を使い、生徒自身が情報を発信する側に関わる可能性についても話題になりました。

本グループでは最終的に、多様な大人の目や関わりがある環境の中でこそ、生徒はより大きく成長できるという考えに至りました。学力だけでなく、社会性や人との関わりを通じた力が育つことを重視し、学校・家庭・地域がそれぞれの立場で無理なく関われる在り方を模索する熟議となりました。

第4グループ



本グループでは、他グループの意見とも共通点を持ちながら、特に「生徒の活動をどう外に見せていくか」という視点から熟議を行いました。学校・家庭・地域それぞれの役割を整理しつつ、体系的に考えることを意識した話し合いとなりました。

まず、教職員から挙げられた意見をもとに、学校でできること、地域でできること、物理的・環境的な条件などを整理しました。通学路の在り方など課題もある一方で、本グループで特に重視されたのは、生徒の頑張りや日々の活動を、より多くの人に知ってもらうことでした。

その際に強調されたのは、単に SNS で発信するというのではなく、「何を見せたいのか」を学校側が意識的に考えることの重要性です。例えば、委員会活動一つをとっても、定数が決まっているため、表に出にくい生徒や、目立た

本グループでは最終的に、学校の中で生徒たちが何を考え、何に挑戦し、どのように成長しているのかを、地域に“見える形”で伝えていくことが、信頼と協力を広げる第一歩になるという方向性で熟議をまとめました。学校と地域が対等な立場で相談し合い、それぞれの強みを生かして場をつくるのが、今後の連携につながると確認されました。

●全体総括（学校運営協議会としての熟議の成果）



今回の熟議では、事前アンケートで整理された共通認識を土台に、教職員と学校運営協議会委員が同じ場に集い、「生徒のよさをさらに伸ばすために何ができるか」「保護者・地域とのつながりをどのように広げていくか」について、率直かつ前向きな意見交換を行うことができました。

各グループの熟議を通して改めて確認されたのは、朝霞第二中学校の生徒がもつ挨拶・礼儀・明るさ・部活動の活発さといった大きな強みです。同時に、

それらの良さを学校だけで支え続けるのではなく、家庭や地域と共有し、ともに育てていくことの重要性が強く意識されました。

また、共通の課題として挙げられた「一部の無関心」「交流機会の不足」「地域の高齢化」に対しては、決して新たな負担を増やすのではなく、今ある教育活動や地域資源をどうつなぎ、どう見える形にしていくかという現実的な視点から多くの提案がなされました。

その中で、情報発信の工夫、顔が見える関係づくり、日常の学校生活への自然な関わりなど、学校運営協議会だからこそ橋渡しできる領域が明確になったことは、大きな成果であったといえます。

今回の熟議は、単なる意見交換にとどまらず、学校・家庭・地域が同じ方向を向いて子どもを育てていくための共通理解を深める場となり、学校運営協議会の果たす役割と意義を再確認する機会となりました。

●今後に向けて（学校運営協議会に期待されるもの）

今後の学校運営協議会には、学校の課題を指摘する場にとどまらず、学校の取組や生徒の頑張りを家庭・地域と共有し、つなげていく「媒介役」「翻訳役」としての役割が、これまで以上に期待されます。

学校で日々行われている教育活動や、生徒一人一人の成長の姿は、意識して伝えなければ家庭や地域には十分に届きません。学校運営協議会が中心となり、「何を伝えたいのか」「どのように見せればよいのか」を整理し、無理のない形で発信や接点づくりを進めていくことが、信頼と協力の輪を広げる第一歩となります。

また、学校・家庭・地域それぞれが役割を分担し、できることを、できる人が、できる形で関わるという視点を共有し続けることが、持続可能な協働につ

ながります。学校運営協議会には、その調整役として、声を拾い、つなぎ、次の一歩を後押しする存在であり続けることが求められると考えております。



今回の熟議で得られた気づきと共通理解を生かし、今後も学校運営協議会が、地域とともにある学校づくりを支える中核的な場として機能していくことを期待し、取り組んで参りたいと存じます。ご協力くださいました教職員の皆様、本当に有難うございました。引き続き宜しくお願い申し上げます。

【資料編】

- ① 教職員の皆様と取り組む「熟議」フライヤー
- ② 令和7年度【熟議】事前アンケート結果報告
- ③ 令和7年度【熟議】当日次第
- ④ 「熟議」「協働」「マネジメント」(コミュニティ・スクールの作り方より)

令和7年度
朝霞第二中学校 学校運営協議会

教職員の皆様と 取り組む「熟議」

— [子供達の未来のために] —

対象: 朝霞第二中学校の教職員
保護者と教師の会役員
学校運営協議会委員

申込: 事前アンケートより
お申込みください！

開催日

2025年
8/26
tue



会場

東洋大学 朝霞キャンパス

1号館3階、1番目の「1301」教室で行います！

【会場紹介】朝霞キャンパスは本学の学生数の増加に伴い、1977年に白山キャンパス・川越キャンパスに続いて開設しました。都内からのアクセスも良い埼玉県朝霞の地で、2005年3月までは文・経済・経営・法・社会学部の1・2年生、同年4月からはライフデザイン学部の学生が学びました。2021年に再開発がスタートし、2024年、板倉・川越キャンパスから学部、研究科が移転。新体制となった2 学部6学科、2 研究科3専攻の学生の教育研究拠点として再始動。

朝霞キャンパス（埼玉県朝霞市）は新時代の創造拠点「命と食が輝くスマートキャンパス」として、これからの新しい生活様式を踏まえた教育研究に関する施設設備を充実させた総合的な教育研究拠点に生まれ変わりました。



時間

14:00～16:00

残暑払い

北朝霞・朝霞台駅近辺で、17:30頃～スタートしたいイメージです。アンケート結果を踏まえて場所を選定し、当日ご案内できるようにしたいと考えております。事前アンケートのご協力、宜しくお願い致します！

事前アンケートのご案内

ステップ
1

次のURLかQRコードでアクセス！

熟議テーマを絞り込むため、今回も事前アンケートを行うことと致します。以下のURLかQRコードよりアクセスをお願いします！

<https://forms.gle/XEVMYKYyukUT3WVH6>



ステップ
2

各設問にご回答ください。

今回の事前アンケートは、教職員用と保護者と教師の会役員又は学校運営協議会委員用の二種類がございます。

それぞれの属性によって進んでいきますので、各設問にご回答くださいますようお願い致します。

ステップ
3

残暑払いの企画も検討中！

そして今回は残暑厳しい折ということもございますので、思い付きながら残暑払いも企画してみたいと画策中です。場所を確保する都合上、もしやるなら...という軽いノリで、こちらにもご回答を寄せていただくと嬉しく存じます(^^)v

朝霞市立朝霞第二中学校 学校運営協議会

〒351-0007 埼玉県朝霞市岡199

URL: <http://www.asakadai2chu.city-asaka.ed.jp/>

FREE DIAL No.

048-461-6540

朝霞市立朝霞第二中学校
令和7年度【熟議】事前アンケート結果報告

実施概要：

- 期間 令和7年7月18日から31日（期間伸長）
対象 学校教職員、保護者と教師の会役員、学校運営協議会委員
回答 28名（教職員25名、学校運営協議会委員5名）

集計結果：

回答内容及び設問ごとのまとめを以下の通り整理しました。

●セクション1「教職員の皆様に伺います。」

設問1，本校の【自慢】をご回答ください。

【教職員・教育活動】

- ・教職員が意欲的に教育活動に取り組んでいる（1）
- ・教員の質の高さ・フットワークの良さ（2）
- ・若手以外も若く、フットワークが良い（1）
- ・若い先生が多く活気がある（1）
- ・子ども思いの良い先生がたくさんいる（1）
- ・明るくて人当たりの良い先生が多い（1）
- ・誰にでも相談しやすい（1）
- ・教員同士の連携（1）
- ・生徒・学校の雰囲気
- ・生徒も先生も元気で前向き（1）

【自然・環境】

- ・緑が多い／自然豊か（2）
- ・生徒や教員、保護者によって保たれている自然豊かな所（1）
- ・植栽が綺麗・花がきれい（1）
- ・栽培活動（5）※「栽培」「栽培活動」「栽培活動や部活動」など含む

【部活動・行事】

- ・部活動や栽培活動が盛んである（2）
- ・栽培活動、鳴子、部活動（1）

【設備・校舎】

- ・二つのグラウンドや剣道場、柔道場など広い校舎と設備に恵まれている（1）
- ・昔ながらの校舎（1）

【歴史】

- ・伝統があること（1）

設問1まとめ：

教職員が意欲的でフットワークも軽く、子供思いで相談しやすい存在として信頼されている点が、教職員から見た本校の自慢です。生徒と先生が共に元気で前向きな雰囲気が学校全体に広がっており、活気ある学びの場となっていることが伺えます。さらに、緑豊かな自然環境や特色ある栽培活動、盛んな部活動、広い設備や伝統ある校舎も強みとして挙げられ、本校の魅力を一層際立たせているようです。

設問2，本校の【課題】をご回答ください。

【設備・環境】

- ・設備が古い／校舎の老朽化（2）
- ・特別教室に内線がなく連絡がとりにくい（1）
- ・水道の数が少なく、給食後に一斉歯みがきができない（2）
- ・清掃の時間が少ない・落ち着いて掃除ができない（3）
- ・環境整備（1）
- ・経年劣化による不具合（1）

【安全・危機管理】

- ・土日の施錠やiPad保管庫の管理が甘い（1）
- ・セキュリティ面（どこからでも入れる）（1）

【教職員の働き方・体制】

- ・仕事量が多く残業が多い（1）
- ・仕事の割り振りに偏りがある（1）
- ・経験を重ねた教職員が少ない（1）
- ・働き方改革等の施策による混乱（1）

【教育活動】

- ・指導的的確さや瞬発力に欠ける場面がある（1）
- ・授業に取り組みにくいことがある（1）

【その他】

- ・地域との連携（1）
- ・保護者対応（1）
- ・特になし（2）

設問2まとめ：

教職員からは、設備や校舎の老朽化、水道や清掃時間の不足といった環境面の課題が多く挙げられました。加えて、施設管理やセキュリティといった安全面、仕事量の多さや人員体制、経験の偏りといった働き方の課題も指摘されています。また、授業や指導の在り方、保護者対応、地域との連携など教育活動に直結する課題も見られ、改善の必要性が示されています。

設問3，本校の生徒に対する【自慢】をご回答ください。

【人柄・性格】

- ・素直・正直・前向き（5）
- ・明るい・元気・活発・フレンドリー（9）
- ・人懐っこい・穏やか（3）
- ・大人を好きな子どもが多い（1）

【挨拶・礼儀】

- ・挨拶ができる・元気な挨拶（6）
- ・挨拶が良く、気持ちがよい（2）

【学習・活動への姿勢】

- ・部活動を頑張る（2）
- ・行事や朝会など集まりで静かに話を聞き、落ち着いた態度をとれる（1）

設問3まとめ：

本校の生徒は、素直で前向き、明るく元気で人懐っこい性格が特徴として挙げられました。特に、気持ちのよい挨拶ができる点は多くの教職員から評価されており、礼儀正しさが自慢とされています。また、部活動に熱心に取り組む姿や、行事や朝会の場で落ち着いて話を聞ける態度も見られ、自己表現の力も備えています。学習面や人間関係においても、バランスの取れた温かく活気ある生徒像が浮かび上がります。

設問4，本校の生徒に対する【課題】をご回答ください。

【学力・思考力】

- ・学力・能力差が大きい／学力格差（2）

- ・自分で考える力・工夫する力・判断力の弱さ（4）
- ・主体的に学ぶ力・取り組む力が足りない（3）
- ・整理整頓や思考力の低下（1）
- ・個では高い能力を持つが集団で発揮できない（1）
- ・二極化の拡大（1）

【行動・生活習慣】

- ・幼さ・こどもっぽさ／発達段階に見合わない幼さ（3）
- ・がんばり切れないことがある（1）
- ・落ち着きがない（1）
- ・細かい決まりやルールを守れない（2）
- ・生徒指導的な問題（喫煙・窃盗など含む）（2）
- ・悪いことを悪いと言いきれない（1）

【健康・生活面】

- ・むし歯の治療に行かない生徒がいる（2）

【心理・意識】

- ・自分の気持ちを話すのが難しい（1）
- ・自主的に行動する力が足りない（1）
- ・自己肯定感が高すぎる生徒が多い（1）

設問4まとめ：

生徒の課題としては、学力や思考力の差が大きく、自分で考えたり主体的に取り組む力が不足している点が複数挙げられました。また、幼さや落ち着きのなさ、ルールを守れないなど基本的な生活習慣や態度に関する指摘もあります。さらに、むし歯の治療に行かないなど健康面の課題、生徒指導上の問題も散見されました。一方で、個々には高い能力を持つ生徒も多く、その力を集団で発揮できるよう支援することが課題となっています。

設問5、本校の保護者に関する【自慢】をご回答ください。

【協力・理解】

- ・協力的（7）
- ・学校行事や栽培活動、部活動への協力（4）
- ・学校の教育活動への関心・理解が高い（2）
- ・教育に関して理解を示してくれる（1）

【関心・関わり】

- ・生徒や学校に関心をもち協力してくれる（1）
- ・連絡がこまめで情報共有をしてくれる／連絡が取りやすい（2）
- ・密に関わってくれる（1）
- ・一緒に向き合い共に進めてくれる（1）

【人柄・姿勢】

- ・友人トラブルに対して寛容（1）
- ・我が子でなくてもきちんと叱る（1）
- ・自分の子どもの課題や弱みも理解している（1）

【その他】

- ・なし（1）

設問5まとめ：

本校の保護者は非常に協力的で、学校行事や栽培活動、部活動などに積極的に参加し、教育活動全般に高い関心を寄せています。連絡や情報共有もこまめで、学校との関わりが密である点も大きな特徴です。また、自分の子どもだけでなく周囲の子どもにも適切に関わり、トラブルに寛容であるなど、地域全体で子どもを育てようとする姿勢が感じられます。教育に対する理解が深く、学校と共に歩むパートナーとして大きな強みとなっています。

設問6、本校の保護者に関する【課題】をご回答ください。

【関心・関わり】

- ・一部の保護者の無関心（1）
- ・ネグレクトに近い／放任すぎる家庭（2）
- ・協力的でない保護者もいる（1）
- ・学校に対する期待値が大きすぎる（1）
- ・子に甘い（1）
- ・過保護（1）

【行動・マナー】

- ・マナーが悪い（運動会での参観等）（1）
- ・常識に欠ける言動（名乗らず苦情電話等）（1）

【健康・生活習慣】

- ・保健教育への関心や関わりに格差（1）
- ・健康診断後に受診が必要でも医療機関を受診しない家庭がある（2）

【連絡・相談】

- ・連絡・相談がとりづらい家庭がある（1）

【子どもへの接し方】

- ・自分の子どもの言うことを全て正しいと思う（1）
- ・「親として」のあり方に疑問を感じる（1）
- ・非行傾向の生徒に対し家庭で躾ができていない家庭がある（1）

【その他】

- ・なし／わからない／特になし（6）

設問6まとめ：

保護者の課題としては、一部に無関心や放任、過保護といった子どもへの関わり方の偏りが見られる点が挙げられました。また、マナーや常識に欠ける言動、学校に対する過度な期待も指摘されています。さらに、健康診断後に必要な受診をしないなど、健康・生活面での課題や、連絡・相談が取りづらい家庭の存在も示されました。ただし多くの回答では「特になし」とされており、全体としては協力的な保護者が多い中での一部の課題と位置づけられています。

設問7、本校の地域に関する【自慢】をご回答ください。**【協力・連携】**

- ・協力的（1）
- ・地域での出来事を情報共有してくれる（1）
- ・良いことも悪いことも学校に連絡してくれる（2）
- ・生徒に関する良い話題を知らせてくれる（1）
- ・何かあるとすぐに知らせてくれる（1）
- ・学校の生徒を見てくれている／生徒の行動を見守ってくれる（3）
- ・地域のつながりを大切にしている（1）
- ・地域の連携が強い（1）
- ・見守っていただき、何かあればすぐに連絡をくださる（1）

【自然・環境】

- ・自然が多い／自然豊か（6）
- ・黒目川沿いにあり自然が豊か（1）
- ・森林環境が整っている（1）
- ・自然が豊かで温かい雰囲気がある（1）

【地域文化・特色】

- ・鳴子（1）
- ・多様性を持った地域（1）
- ・コミュニティ・スクールの充実（2）

【その他】

- ・穏やか（1）
- ・なし（2）

設問7まとめ：

地域については「自然が豊か」という点が最も多く挙げられ、黒目川や森林環境など恵まれた立地が大きな魅力とされています。また、地域住民が生徒を見守り、良いことも悪いことも含めて情報共有をしてくれるなど、学校とのつながりの強さや協力的な姿勢が高く評価されました。さらに、二中の特色である鳴子踊りやコミュニティ・スクールの取組、多様性を持つ地域性など、地域文化や教育環境の特色も挙げられ、本校を支える温かく安心できる地域であることが示されています。

設問8，本校の地域に関する【課題】をご回答ください。**【安全・環境】**

- ・道が狭く危険（1）
- ・細い路地や暗い道が多い（1）
- ・学区が物理的に広い（1）

【地域の教育力・関わり方】

- ・地域の教育力（不足）（1）
- ・その場で生徒に注意してくれない（3）
- ・学校への通報に留まり直接注意できない（2）
- ・その場で働きかけることが困難（1）
- ・問題発見時に警察より学校に連絡がある（1）
- ・直接生徒に怒鳴ってしまいトラブルになることがある（1）
- ・より地域に見守ってもらえる生徒に育てる必要（1）

【その他】

- ・なし／特になし／分からない（10以上）

設問8まとめ：

地域の課題としては、道が狭く暗い路地が多いなど安全面での懸念や、学区の広さが挙げ

られました。また、地域住民が生徒に対してその場で適切に注意や働きかけをすることが難しく、学校への通報にとどまる場合が多い点も課題とされています。一方で、直接強い言葉で叱ることでトラブルにつながるケースもあり、関わり方のバランスが求められています。ただし、多くの回答では「特になし」とされており、大きな問題は限られた範囲にとどまっています。

設問9、どのような生徒に育てていきたいですか？

【主体性・思考力】

- ・自ら考え課題を解決できる生徒（3）
- ・試行錯誤しながら考える力をもつ生徒（1）
- ・考えて行動できる生徒（1）
- ・是々非々を貫ける生徒（1）

【協調性・思いやり】

- ・思いやりがあり、礼儀を大切にする生徒（3）
- ・周りから応援され、愛される生徒（2）
- ・周りとは協力できる生徒（1）

【素直さ・人間性】

- ・素直でまっすぐな心を持つ生徒（2）
- ・自分の気持ちを伝えやりとりができる生徒（1）

【学習意欲・挑戦心】

- ・どんなことにも意欲的に取り組む生徒（1）
- ・行事や学校活動に積極的に参加する生徒（1）
- ・自分で考え、チャレンジしていく生徒（1）
- ・諦めず、粘り強い生徒（1）

【生きる力】

- ・激動の社会を生きる力を持つ生徒（1）
- ・自ら学び、心豊かに心身を鍛える生徒（2）
- ・勤労を尊ぶ生徒（1）
- ・地域や家庭と共に正しく自分らしく伸びる生徒（1）

設問9まとめ：

教職員が育てたい生徒像として最も多く挙げられたのは、自ら考え課題を解決し、主体的に行動できる力をもつ生徒でした。あわせて、思いやりや礼儀を大切にし、周囲と協力しな

がら信頼され愛される存在となることも重視されています。また、素直で自分の気持ちを伝えられること、意欲的に活動や挑戦に取り組む姿勢、困難に粘り強く向き合う力も求められています。さらに、心身を鍛え、社会で生き抜く力を備えた、地域や家庭とともに成長する生徒像が描かれています。

設問10、学校運営協議会に期待するものは何ですか？

【協力・連携】

- ・協力して教育活動を充実させたい（1）
- ・生徒・保護者・地域と学校をつなぐ役割（2）
- ・地域と学校の協力（2）
- ・地域と学校のコーディネート（1）
- ・協働の推進（1）
- ・引き続き協力していきたい（1）

【学校づくり・改善】

- ・持続可能で即効性のあるサポート（1）
- ・教職員への要望やクレームだけでなく、一緒に考えてより良い学校を作っていく（1）
- ・課題を整理し、今できることから取り組む（1）
- ・より良い学校づくりのための協力やアイデア（1）

【保護者・地域の力の発揮】

- ・チルドレンファーストにつながる保護者力・地域力の向上（1）
- ・学校を支えてくださる方々からの意見を聞きたい（1）
- ・普段の学校生活をどんどん見に来てほしい（1）
- ・内側の人として遠慮なく中に入ってほしい（1）

【その他】

- ・なし／特になし／思いつかない（7）

設問10まとめ：

学校運営協議会への期待としては、学校・保護者・地域をつなぐ役割や協働の推進が多く挙げられました。また、持続可能で即効性のあるサポートや、課題を整理して一緒に解決していく姿勢への期待も示されています。さらに、保護者や地域の力を高め、学校生活に積極的に関わってもらうことや、意見を共有してより良い学校づくりにつなげたいという声もありました。一方で「特になし」とする回答も一定数見られ、全体としては協力と連携を中心にした前向きな期待が寄せられています。

●セクション2「学校運営協議会委員に伺います。」

設問11、本校の【自慢】をご回答ください。

- ・「花を育て心を育てる」運動（1）
- ・部活動が盛んでありながら、学業も平均以上（1）
- ・保護者と教師の会の活動が活発で、コロナ禍を経ても思いが受け継がれている（1）
- ・なし（2）

設問11まとめ：

委員の皆様からは、「花を育て心を育てる」運動や、部活動と学業の両立、さらに保護者と教師の会の活発な活動といった特色が、本校の自慢として挙げられました。一方で「なし」との回答も散見されました。

設問12、本校の【課題】をご回答ください。

- ・施設の老朽化（2）
- ・古い設備が気になる（1）
- ・保護者と教師の交流機会が少ない（1）
- ・なし（1）

設問12まとめ：

委員の皆様からは、施設や設備の老朽化を課題とする声が多く寄せられました。また、コロナ禍の影響もあり、保護者と教師の交流機会が減っていることも指摘されています。一方で「なし」との回答もあり、課題の受け止め方には差が見られます。

設問13、本校の生徒に関する【自慢】をご回答ください。

- ・誰にでも挨拶ができる生徒が多い／挨拶がよくできる（2）
- ・礼儀正しい（1）
- ・部活動が活発で、県大会で好成績を残す生徒もいる（1）
- ・なし（1）

設問13まとめ：

委員の皆様からは、生徒が「挨拶ができ、礼儀正しい」点が最も多く挙げられました。また、部活動にも熱心に取り組み、県大会で成果を上げるなど活発な姿が誇りとされています。一方で「なし」との回答もありました。

設問14、本校の生徒に関する【課題】をご回答ください。

- ・素行不良の生徒への対応（1）
- ・一部のやんちゃな生徒の発散の場が必要（1）
- ・なし（2）
- ・わからない（1）

設問14まとめ：

課題としては「素行不良の生徒への対応」や「一部のやんちゃな生徒に発散の場を用意する必要」が挙げられました。ただし多くは「なし」や「わからない」との回答であり、全体として大きな問題は限られた範囲にとどまっているといえます。

設問15、本校の教職員に関する【自慢】をご回答ください。

- ・授業参観での創意工夫が感じられる（1）
- ・熱意をもって取り組んでいる（1）
- ・生徒と仲が良く、目線を合わせて接している（1）
- ・なし（2）

設問15まとめ：

委員の皆様からは、教職員について「授業に創意工夫がある」「熱意をもって取り組んでいる」「生徒と仲が良く、目線を合わせて接している」などの評価が寄せられました。一方で「なし」との回答もありました。

設問16、本校の教職員に関する【課題】をご回答ください。

- ・労働時間を減らすのに苦勞している（1）
- ・働き方改革の影響で、終業後の生徒活動への関わりが課題（1）
- ・なし（3）

設問16まとめ：

教職員の課題としては、長時間労働の是正が難しいことや、働き方改革の影響により終業後の生徒活動への関わりが十分にできない点が挙げられました。一方で「なし」との回答も多く、大きな課題感は限定的です。

設問17、本校の地域に関する【自慢】をご回答ください。

- ・見守りなど、校外でのフォローがある（1）

- ・校区が広範囲で、特色ある地域が行事等に関わっている（1）
- ・なし（3）

設問17まとめ：

地域については、校外での見守りなど日常的に子どもを支えている点や、校区が広く特色ある地域が学校行事に関わっている点が挙げられました。一方で「なし」との回答も多く、意見は分かれています。

設問18、本校の地域に関する【課題】をご回答ください。

- ・年配の方が多く、世代交代が課題（2）
- ・学校との意識の距離感（1）
- ・なし（2）

設問18まとめ：

地域の課題としては、自治会や町内会を担う方々を中心に高齢化が進み、世代交代が課題となっている点が挙げられました。また、学校との意識の距離感も指摘されています。一方で「なし」との回答もありました。

設問19、どのような生徒に育てていきたいですか？

- ・土壇場で正しい判断ができる生徒（1）
- ・いじめのない生徒（1）
- ・自尊感情が高く、自校や自国への誇りを持つ生徒（1）
- ・なし（2）

設問19まとめ：

委員の皆様からは「土壇場で正しい判断ができる生徒」「いじめのない生徒」「自尊感情が高く、自校や自国に誇りを持つ生徒」といった意見が挙がりました。一方で「なし」との回答も複数見られました。

設問20、学校運営協議会に期待するものは何ですか？

- ・学校・地域・PTAのコーディネート機能（1）
- ・多方面からのポジティブな意見（1）
- ・教育委員会への提言（1）
- ・教職員とのコミュニケーションを通じた協働の学校運営（1）
- ・なし（1）

設問20まとめ：

委員の皆様からは、学校・地域・PTAをつなぐコーディネート機能や、多方面からの前向きな意見交換、教育委員会への提言などが期待されています。また、教職員とのコミュニケーションを通じて共につくる学校運営への期待も挙げられました。

教職員と学校運営協議会委員の回答共通項：

【学校の環境・設備】

- ・教職員：校舎や設備の老朽化、古さ、水道不足などを課題として指摘
- ・委員：施設・設備の老朽化を課題に挙げる声多数
- ▶ 共通の大きな課題

【生徒の姿】

- ・教職員：素直・明るい・挨拶ができる／課題は主体性や学力差
- ・委員：挨拶・礼儀正しさ・部活動の活発さを評価／一部素行ややんちゃさを課題視
- ▶ 「長所の育成」と「一部課題への対応」の両面が共通認識

【教職員の働き方】

- ・教職員：仕事量・働き方改革・人員体制を課題として挙げる
- ・委員：長時間労働、働き方改革の影響（放課後対応など）が課題との認識
- ▶ 「働き方と教育活動の両立」は双方で意識

【保護者・地域との関わり】

- ・教職員：保護者は協力的で理解があるが、一部無関心や過保護、連絡困難も課題
- ・委員：保護者の会活動や協力体制を自慢としつつ、交流機会の不足を課題に指摘
- ・地域：双方から「見守り」「協力」「自然豊か」が自慢／一方で「高齢化」「世代交代」が課題
- ▶ 「協力体制は強みだが、より活性化・持続可能性が必要」という共通認識

全体総評：

教職員と学校運営協議会委員の回答を照らし合わせると、いくつかの共通点が浮かび上がりました。強みとしては、生徒が明るく礼儀正しく、挨拶や部活動を通じて活発に活動している姿が広く評価されていること、また保護者や地域が協力的で学校行事や見守りに関わるなど、学校を支える体制が存在していることが挙げられます。

一方で課題としては、施設や設備の老朽化、教職員の多忙感や働き方改革に伴う活動制約、地域の高齢化や保護者との交流機会の不足など、双方に共通した認識が示されました。これらは学校単独では解決が難しい面もありますが、学校運営協議会が関係者をつなぎ、工夫次第で改善に向けた一歩を踏み出せる領域でもあります。例えば、生徒の良さをさらに伸ばす取組や、保護者・地域との連携をより実感できる形に整える工夫などは、協議会の枠組みの中でも実現可能です。

こうした共通理解を土台に、熟議では前向きな強みの活用と、身近な課題解決の双方から議論を深めることが有効と整理されます。

今回の熟議テーマ（提案）：

前半テーマ（現状の整理・共通理解）

「生徒のよさをさらに伸ばすために、学校・家庭・地域でできること」

- ・ 共通の強み＝挨拶・礼儀・明るさ・部活動の活発さ
- ・ 学校に任せきりにせず、保護者・地域がどう関わるかを考える

後半テーマ（改善に向けた具体策）

「保護者・地域とのつながりを強め、協力を広げるにはどうすればよいか」

- ・ 共通の課題＝一部の無関心、交流機会の不足、地域の高齢化
- ・ 協議会としてできるのは、「接点を増やす」「情報を広げる」など、身近で実行可能な工夫

教職員とともに考える ワークショップ「熟議」 ～地域とともにある学校づくり～

令和7年8月26日(火)午後2時～
東洋大学 朝霞キャンパス 1号館1301教室

5年目となる本校の学校運営協議会。学校と地域との連携をより深化させるためには、教職員の皆様とのコミュニケーションを通じて、学校への理解を深めることが大切だと考えています。

今年度の学校運営協議会では、先にご協力いただきましたアンケート結果を踏まえ、以下の内容で**熟議**にチャレンジしたいと思います。

①導入(10分)	熟議実施の背景、アンケート結果を説明します
②前半テーマ(25分) ▶休憩(10分)	『生徒の良さをさらに伸ばすために、学校・家庭・地域 でできること』 ※簡単に自己紹介をして、付箋を使って意見(思い)を 沢山書き出しましょう
③後半テーマ(25分) ▶発表準備(10分)	『保護者・地域とのつながりを強め、協力を広げるため にはどうすればよいか』 ※前半で出た意見をまとめ、方向性をもって話し合 いましょう
④グループ発表(20分)	各グループの意見をシェアしましょう

参考：ブレインストーミング【4つのルール】

- ① 結論厳禁： **批評・否定はNG!** ありのままを受け止めます。
- ② 自由奔放： 荒削りなアイデアであっても歓迎します。
- ③ 質より量： 沢山の意見と多様性を重視します。
- ④ 便乗歓迎： 他者のアイデアから連想し発展させます。

「熟議」・「協働」・「マネジメント」

学校と地域の人々（保護者・地域住民等）が学校や地域の課題を共有し、共通の目標・ビジョンを持って一体となって地域の子供たちを育てていくことは、子供の豊かな育ちを確保するとともに、地域の絆を強め、地域づくりの担い手を育てていくことにもつながります。

そこで、学校運営協議会が設置された学校は、法律や規則で定められた三つの機能に加え、「熟議」の場の設定、「協働」による取組ができる体制、校長の「マネジメント」力を備えておく必要があります。

① 熟議

子供たちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有するために「熟議（熟慮と議論）」を重ねることが大切です。熟議の実施により、子供たちに関わるより多くの方の意見を取り上げることができま

「熟議」とは、よりよい集団（学校）生活や人間関係を築くために、「協働して取り組む一連の自主的、実践的な活動」を「話し合い」を重ねながら生み出そうというものです。具体的には、下記のようなポイントを満たしたプロセスを指します。

1. 多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、
2. 課題について学習・熟慮し、議論をすることにより、
3. 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
4. それぞれの役割に応じた解決策が洗練され、
5. 個々人が納得して自分の役割を果たすようになる



【熟議：テーマ例】

子供たちがどう育ってほしいか	学校と地域と一緒にやれることは	「いじめ」を撲滅するには
子供たちの「学力」を向上させるには	地域の力をどう子供たちの教育に生かすか	下校時の安全をどう確保するか
あいさつ日本一の町をめざすために	学校と地域の合同運動会について	携帯電話の取扱いについて
郷土学習で何を子供たちに伝えるか	統合する学校の子供たちにできることは何か	地域に貢献できることは何か

【熟議：展開例（約60分）】

※別冊「ワークショップのすすめ」に詳しい展開例を掲載しています。

①オリエンテーション	5	なぜ、熟議開催に至ったかを改めて確認する。
②テーマに関わる資料の共有	10	テーマについての知識・背景を共有する。
③熟議（前半）スタート	20	自己紹介→意見（思い）をたくさん出す（付箋を利用）。
④熟議（後半）スタート	15	前半で出た意見について、方向性をもって話し合う。
⑤グループごとの発表	5	各グループ1分程度でまとめ、全体で発表する。
⑥終わりの挨拶	5	今後の話し合いの場をどこでもつかを提案する。

「熟議」で提案されたプランを、課題解決や目標達成に向けた具体的取組につなげていきます。

② 協働

「熟議」の実施を通して学校と地域の信頼関係の基礎を構築した上で、学校運営に地域の人々が「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動していくことが大切です。（→ 地域学校協働活動等の実施）

③ マネジメント

その中核となる学校は、校長のリーダーシップのもと、目指すべきビジョンの達成に向かって学校内の組織運営を管理することにとどまらず、地域との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営を行っていく力が必要です。



開校60周年記念 特別号

朝二中だより

朝霞市立朝霞第二中学校

令和7年9月9日発行

〒351-0007 朝霞市岡 199

電話(461)6540・fax(467)4742

本日、開校60周年の佳節を迎えました

校長 小石川 知治

本校は本日、開校60周年の佳節を迎えました。これに先立って9月2日には本市長松下 昌代 様、本市議会議長 岡崎 和広 様、本市教育委員会教育長 二見 隆久 様をはじめ、20名を超える来賓の皆様にご臨席いただく中、開校60周年記念式典を行いました。

式典では、朝霞第九小学校 高野 正 教諭より「前向きに生きることの素晴らしさ」と題して、小児がんを乗り越えただけでなく、小学校教師という夢を叶え、さらには今や世界に名を馳せるパラクライマーとして活躍する姿を通して、講演いただきました。

さらに、生徒全員で決定したマスコットキャラクター「二葉ウパ」の発表や本校鳴子隊「双葉（そうよう）」の記念演舞、吹奏楽部による記念演奏等が、式典に花を添えてくれました。

なまえ

二葉 ウパ

特徴

・二中の象徴の二葉 ・二中で飼っているウーパールーパー

性格

・真面目で誠実 ・優しい ・頑張り屋さん ・少し天然

誕生日

9月9日（朝霞第二中の開校記念日）



また、保護者と教師の会の皆様からは、60周年を記念して校旗を新調いただくとともに、全校生徒にボールペンを頂戴しました。併せて、式典を行うにあたっては多くの皆様に運営役員として、ご協力いただきました。物心両面から本校、生徒一人一人を支え、応援して下さいましたこと、心より感謝申し上げます。

本日より朝霞第二中学校は、70周年に向けて出発します。「地域の中で 仲間とともに 家庭とともに」生徒一人一人が「私らしく」伸びることができるよう、教育活動を充実させ、展開してまいりますので、ますますのお力添えを宜しくお願いいたします。



令和7年度9月号

朝二中だより

朝霞市立朝霞第二中学校

令和7年9月1日発行

〒351-0007 朝霞市岡 199

電話(461)6540・fax(467)4742

60年の伝統を礎に 地域の中で 未来に向けて出発

校長 小石川 知治

夏休みが終わり、2学期が始まりました。先月29日の始業式には、生徒それぞれが充実した休みを過ごし、心も体も一回り成長した姿で登校することができました。そして、9月は2学期の本格的な始まりであるだけでなく、本校にとって大切な節目の月でもあります。

本校は開校以来、保護者の皆様、地域の皆様に温かく支えられ、今年で創立60周年を迎えることとなりました。明日、9月2日には記念式典を挙行いたします。当日は、市長、市議会議長をはじめ、多くのご来賓をお迎えし、これまでの歩みを振り返るとともに、未来に向け、決意も新たに出発してまいります。

この節目にあたり、昭和42年に寄贈いただいて以来、本校、生徒を見守ってきた校旗を保護者と教師の会より、新調いただく運びとなりました。校旗は学校の象徴であり、生徒一人一人の誇りのよりどころとなるものです。これまで大切に受け継いできた伝統を礎に、新しい校旗を掲げ、新たに歴史を積み重ねていけることを大変ありがたく思っております。また、生徒等には記念品としてボールペンを頂戴します。この記念品は、生徒会が中心となって箸や巾着、バッグ等、複数の候補を挙げ、その中から全校生徒の希望を集約して決定したものです。自分たちで選んだ記念品を、日々の学習の中で大切に使うことで、この記念すべき年を自分の中に重ねていってほしいと願っています。

また当日は、学校公認キャラクターの発表も予定しています。生徒会や有志の生徒が中心となって完成したキャラクターです。本校の特徴、魅力を広く発信し、生徒の活躍を後押しする存在と成りゆくことを楽しみにしています。

2学期は学習にじっくり取り組める学期です。合唱コンクールや修学旅行、フィールドワーク等の行事も計画されています。一つ一つが生徒の成長につながります。

これまでの60年の歴史と伝統に誇りを持ち、「地域の中で 仲間とともに 家庭とともに 私らしく伸びる学校」として、さらなる飛躍を目指してまいります。

★学校総合体育大会埼玉県大会結果

テニス部 女子団体 2位 (関東大会 2回戦進出)
女子個人D ベスト8

野球部 惜敗

剣道部 男子団体 5位

男子個人

惜敗

惜敗

惜敗

惜敗

惜敗

女子個人

陸上競技部

男子 総合 18位

1年 100m 予選5組2着

2年 100m 予選5組3着

3年 100m 決勝6位

200m 予選7組3着

3000m タイムレース決勝2組21着

110m H B決勝7位

予選8組3着

走高跳 決勝15位

砲丸投 決勝22位

4×100mR 決勝3位 (関東大会 第6位)

女子

3年 100m B決勝6位

走高跳 決勝20位

走幅跳 決勝13位

個人参加

テニス

男子シングルス 6位

水泳

自由形200m 決勝4位、400m 決勝3位

(関東大会 自由形200m 3位、400m 1位)

自由形100m 予選34位、200m 予選32位

相撲

重量級ベスト8

★その他の大会結果

陸上競技部

U16 陸上競技リレー大会 (岐阜メモリアルセンター-長良川競技場)

全体 15位

吹奏楽部

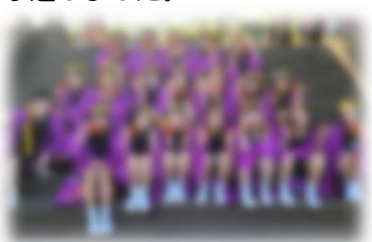
埼玉県吹奏楽コンクール地区大会中学生Aの部 銀賞

★二中鳴子「双葉」が彩夏祭に参加しました。

8月2日(土)、3日(日)に開催された朝霞市民祭「彩夏祭」において、本校の1～3年生で構成されたチーム「双葉」が参加し、青葉台公園周辺や北朝霞グラウンドで素晴らしい演舞を披露しました。

保護者の皆様にご協力を得ながら、夜間や日曜日に二中体育館で練習を繰り返しました。

最後は北朝霞ステージにおいて、日頃からお世話になっている「遊和会」と合同で、素晴らしい演舞を発表しました。



9月の行事予定

日	曜	行事予定	給食
9/1	月	市英語弁論暗唱大会 避難訓練 教育実習開始	×
2	火	運動部写真撮影 給食開始 第1回選管委員会 60周年式典	○
3	水	生徒会役員選挙告示	○
4	木	立候補者受付～10日 合唱コン実行委員会	○
5	金		○
6	土		
7	日		
8	月		○
9	火		○
10	水	各種委員会(前期最終) 交通安全教室	○
11	木	2年脊柱側湾検診	○
12	金	教育実習終了	○
13	土		
14	日		
15	月	敬老の日	
16	火	壮行会	○
17	水	朝霞班英語弁論暗唱大会 運動部写真撮影	○
18	木	新人地区陸上 生徒会役員選挙政見放送	○
19	金	新人地区陸上予備 政見放送	○
20	土	「保護者と教師の会」常任委員会	
21	日		
22	月	3年修学旅行 事前指導・宿泊荷物発送	○
23	火	秋分の日	
24	水	3年修学旅行	○
25	木	3年修学旅行 新人地区水泳	○
26	金	3年修学旅行	○
27	土	新人地区大会①	
28	日	新人地区大会バレー	
29	月	新人地区大会テニス	○
30	火	新人地区大会② 3時間授業 給食×	×

※行事予定は変更が生じる場合がありますのでご了承ください。

★10月の主な行事★

- 1日(水) 新人地区大会③
- 2日(木) 新人地区大会(サッカー、野球)
- 3日(金) 6日(月) 生徒会役員選挙政見放送
- 7日(火) 生徒会役員選挙
- 8日(水) 県新人陸上①
- 9日(木) 県新人陸上②
- 10日(金) 中間テスト
- 14日(火) 1・2年技家テスト
- 17日(金) 合唱コンクールリハーサル
- 22日(水) 地区駅伝
- 23日(木) 合唱コンクール
- 27日(月) 振替休業日
- 28日(火) ~11/1(土) 学校公開週間



令和7年度10月号

朝二中だより

朝霞市立朝霞第二中学校

令和7年10月1日発行

〒351-0007 朝霞市岡 199

電話(461)6540・fax(467)4742

二中を支える誇り高き教職員

校長 小石川 知治

9月8日の夕刻、午後5時半頃のことです。部活動が終わりに近づき、生徒が下校を始めた頃、空が一気に暗くなり、遠くでは雷が発生している様子でした。学校からさほど距離のない生徒であれば下校も可能でしたが、生徒の安全を最優先とし、下校はさせず、しばらくとどめ置くことを決めました。

雷が収まる様子はありません。気象情報によれば、少なくとも1時間程度は続く見込みです。退勤時間は大きく過ぎていましたが、校内に居た全教職員が集まり、短時間で打ち合わせを行いました。「どうすれば生徒を安全に、混乱なく帰宅させられるか」考えました。打ち合わせで決めたのは、実際に **tetoru** でお伝えしたとおり、安全に帰れる状況になるまでは体育館や教室等で待機させること。お迎えはローソン側の裏門から正門へ抜ける一方通行でお越しいただくこと。お迎えがあった際には、2・3年生の昇降口前で車に乗せることだけでした。わずかな時間の打ち合わせであり、大枠を決めただけではありましたが、その後の教職員の動きは一騎当千の活躍でした。電話対応をする職員、放送を使って昇降口まで生徒を呼び出す職員、誘導灯を持ち、案内をする職員。誰の指示を受けるでもなく、「生徒のために」できることを全員が全うしていました。

生徒たちは体育館や教室の中で不安そうな様子もなく、落ち着いて待機していました。その後ろには汗びっしょりになりながら、生徒たちを全力で支える教職員の姿がありました。校長として私は「これほど頼もしい仲間はいない」と誇りに思い、胸が熱くなりました。生徒を真ん中に据え、全員が一致団結し、考え、動く、まさに「二中教職員チームの底力」を目の当たりにした瞬間でした。

いよいよ10月となりました。1、2年生は新人戦真っ盛りです。そして、今年度の折り返しを迎えました。これからも生徒一人一人が「地域の中で 仲間とともに 家庭とともに 私らしく」伸びられるよう、この自慢の教職員と力を合わせ、日々の教育活動に全力を尽くしてまいります。

創立60周年記念式典が挙行されました



9月2日(火)、本校の体育館には、市長、市議会議員、市議会議員、教育長、校区小学校長、学校運営協議会委員、町内会長といった多くの皆様にお越しいただき、一緒にお祝いをしていただきました。

式典では、保護者と教師の会に60年使ってきた校旗を新調していただいたり、記念ボールペンを生徒全員に配布したりしていただきました。また、60周年マスコットキャラクターとして、生徒会が「二葉ウパ」を発表しました。

記念講演として朝霞九小の教諭でありながら、パラクライミング世界大会の優勝者 先生の講演や、二中鳴子「双葉」の演舞、吹奏楽部の記念演奏がおこなわれました。



★新人地区大会 陸上競技部結果

男子 総合第4位	
1年100m 第6位	(県大会シード)
200m 優勝	(県大会)
400m 第3位	(県大会)
3000m 第4位	(県大会)
110mH 第2位	(県大会)
	第3位 (県大会)
	第7位
走 高 跳 第5位	(県大会補欠)
走 幅 跳 第5位	(県大会)
砲 丸 投 第3位	
4×100mR 第7位	(県大会)
女子 総合第5位	
2年100m 第7位	(県大会補欠)
800m 第4位	(県大会)
100mH 第7位	
走 高 跳 第2位	(県大会)
	第5位 (県大会補欠)
砲 丸 投 第3位	(県大会)
	第4位 (県大会補欠)
4×100mR 第6位	(県大会)

★児童生徒発明創意くふう展

9月11日(木)、和光市役所にて朝霞班審査会が実施されました。本校からも出展された5点のうち、2点が北足立支部展に出展され、1点が10月24・25日に新都心ビジネス交流プラザで開催される県展に出展されます。

「あっしゅくん」	優秀賞 (県展出展)
「ひもケース」	優秀賞 (支部展出展)
「水筒見えるんです」	優良賞
「キーライト」	優良賞
「しおりカバー」	優良賞

★10・11月は朝霞市いじめ防止月間です

本校では“心と生活アンケート”“オレンジリボンキャンペーン”等の取組をはじめ、授業や学校生活を通して、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいます。ご家庭におかれましても、お子様の様子や、心の声に耳を傾けていただき、お気づきのことがございましたら、遠慮なく、学校にご相談いただきますようお願いいたします。

日曜	行事予定	給食
1 水	新人③ 登校1時間遅れ	○
2 木	新人(サッカー・野球・卓球・テニス) ⑤3-4 研究授業	○
3 金	野球・サッカー予備 政見放送	○
4 土		
5 日		
6 月	AM 発育測定 政見放送	○
7 火	表彰朝礼 ⑥生徒会役員選挙	○
8 水	県新人陸上 選挙結果公示	○
9 木	県新人陸上	○
10 金	中間テスト 合唱コン放課後練習スタート	○
11 土		
12 日		
13 月	スポーツの日	
14 火	①1・2年技家テスト	○
15 水	各種委員会 表彰朝礼	○
16 木	第2回校長会テスト 合唱コン前日準備	○
17 金	合唱コンパル	○
18 土		
19 日		
20 月		○
21 火	学校朝礼(認証式) 3年金融教育(5・6校時)	○
22 水	合唱コン前日準備(自転車登校) 地区駅伝	○
23 木	ふれあいデー 合唱コンクール 地区駅伝予備	○
24 金		○
25 土		
26 日		
27 月	振替休業日(11月1日分)	
28 火	生徒朝礼 学校公開週間~11月1日	○
29 水		○
30 木		○
31 金		○

11月の主な行事予定

- 1(土)土曜参観・部活参観 薬物乱用防止教室 学校運営協議会
- 5(水)朝霞市研究開発学校指定研究発表会 5時間授業 部活動なし
- 6(木)性に関する講演会(2年)
- 7(金)性に関する講演会(3年) 学校保健委員会
- 8(土)県駅伝大会
- 10(月)後期時間割開始 3年三者面談(~17(月)まで)
- 11(火)性に関する講演会(1年)
- 14(金)県民の日
- 18(火)1年 東京フィールドワーク
- 25(火)期末テスト
- 26(水)期末テスト

★下校時刻が早まります

10月3日(金)から下校時刻が早まります
 新人戦終了後の部活動終了時刻は、午後5時15分完全下校時刻は午後5時30分となります。
 12月1日(月)からは、部活動終了時刻が午後4時45分、完全下校時刻が午後5時です。
 日没が早くなっています。下校時の交通安全について、ご家庭におきましてもご指導をお願いいたします。



令和7年度11月号

朝二中だより

朝霞市立朝霞第二中学校

令和7年11月1日発行

〒351-0007 朝霞市岡 199

電話(461)6540・fax(467)4742

授業改革に挑戦～自ら考え、学び続ける力を育むために

校長 小石川 知治

秋も深まり、朝夕はぐっと冷え込んできました。先日開催した合唱コンクールのリハーサルや、本日まで実施した学校公開では多くの保護者・地域の皆様にご来校いただき、生徒への激励を頂戴しましたこと、深く感謝申し上げます。

さて、本校はこれまで市教育委員会の指定を受け、「主体的対話的で深い学び」の実践に向けて「探求的な学び」をその柱の一つとして授業改革に取り組んでまいりました。来週5日には市内外の教職員を対象に研究発表会を開催いたします。教師が一方的に教え込むのではなく、生徒自身が「なぜだろう」「どうしてだろう」と考え、仲間と意見を交わしながら学びを深めていく授業への転換です。自分の考えをもとに、仲間の意見を聴き、視点を広げたり考えを修正したりすることで、理解がより確かなものとなっていきます。

こうした学び方を大切にするのは、知識を覚えるだけではこれからの社会を生き抜くことができないからです。先述の合唱コンクールを迎えるにあたって生徒たちは「自分たちの合唱曲の歌詞にはどのような思いが込められているか」「どのような背景があるか」を自分たちなりに考え、ネットや文献で調べ、級友と意見を交わしながら、歌い込んできました。担任が指示をせずとも、実行委員やリーダーが中心となってよりよい合唱を目指した姿は、まさに探求の姿そのものでした。

変化の激しい現代においては、答えが一つでない問題や困難に向き合う場面が圧倒的に増えることは確実です。その時、自ら課題を見つけ、仲間と協力しながら解決策を探る力が求められます。その力の土台となるのが「探求的に学ぶ姿勢」です。

本校といたしましては、今後も引き続き授業改革を進め、生徒が自ら学びを深められるよう支えていきたいと考えています。保護者の皆様にも家庭での会話の中でお子様の疑問や関心に耳を傾け、「どうしてそう思ったのか」を一緒に考えていただくなど、子どもたちの考えるくせ、習慣を育む言葉がけをお願いできましたら幸いです。

★二中生の活躍！！

新人兼県民総合スポーツ大会朝霞地区予選会

剣道
男子団体戦 優勝 県大会出場
個人戦 優勝 バスト8 県大会出場
女子団体戦 惜敗
個人戦 惜敗

硬式テニス
団体戦 第2位 県大会出場
個人戦 ダブルス バスト8 県大会出場
バスト8 県大会出場

野球
第2位
サッカー 優勝 県大会出場
柔道

男子団体戦 惜敗
個人戦男子体重別 バスト4
女子団体戦 惜敗
個人戦女子体重別 優勝 県大会出場

卓球
男子団体戦 第3位 県大会出場
個人戦 惜敗
女子団体戦 惜敗
個人戦ダブルス バスト8

ソフトボール バレーボール
バスケットボール男子・女子 惜敗

新人兼県民総合スポーツ大会 県大会

硬式テニス 女子団体戦 惜敗
女子個人戦 11/12 (大宮第二公園)
男子団体戦 惜敗

卓球 惜敗
サッカー 11/9 (さいたま市立浦和南高校)
柔道 個人戦男子体重別 11/11 (県立武道館)

剣道 男子団体戦 11/12 (県立武道館)
男子個人戦 11/13 (県立武道館)

陸上競技
男子 200m 予選 5組 1着
400m 予選 2組 8着
3000m タイムレース決勝 1組 18着
100mH B決勝 7位
砲丸投 予選 4組 4着
4×100mR 決勝 45位

女子 800m 予選 7組 5着
走高跳 予選 5組 6着
砲丸投 決勝 9位
4×100mR 決勝 38位
予選 5組 4着

地区駅伝大会結果

女子 総合5位 (朝霞市2位)
男子 総合7位 (朝霞市2位)

令和7年度生徒会本部役員が決定しました

10月7日(火)生徒会役員選挙が行われました。2年生から会長、副会長、書記、会計候補が各1名、1年生から副会長4名、書記2名、会計1名が立候補し、選挙の結果、新たな本部役員7名が決定しました。これから1年間、朝霞第二中学校のリーダーとして頑張りたいと思います。

会長 2年生 1年
副会長 2年生 1年
書記 2年生 1年
会計 2年生 1年

校内合唱コンクールが開催されました

10月23日(木)、朝霞市民会館にて、校内合唱コンクールを実施しました。実行委員を中心に、クラス丸となって、会場内に美しい歌声を響かせることができました。

9・10組 優秀賞
1年金賞 7組 銀賞 6組 銅賞 1組
2年金賞 6組 銀賞 7組 銅賞 3組
3年金賞 2組 銀賞 7組 銅賞 6組
最優秀指揮者賞 1年 2年 3年
最優秀伴奏者賞 1年 2年 3年

日	曜	行事予定	給食
1	土	土曜参観・部活参観 薬物乱用防止教室	
2	日		
3	月		
4	火	5時間+前日準備	○
5	水	朝霞第二中学校 研究発表会	○
6	木	2年：性に関する講演会	○
7	金	3年：性に関する講演会 学校保健委員会	○
8	土		
9	日		
10	月	後期時間割開始	○
11	火	1年：性に関する講演会 3年三者面談	○
12	水	3年三者面談	○
13	木	3年三者面談	○
14	金	県民の日	
15	土		
16	日		
17	月	3年三者面談 安全点検 1年事前指導	○
18	火	1年フィールドワーク テスト7日前	○
19	水	各種委員会	○
20	木		○
21	金	ふれあいデー	○
22	土		
23	日	勤労感謝の日	
24	月	振替休日	○
25	火	期末テスト	○
26	水	期末テスト	○
27	木		○
28	金		○
29	土		
30	日		

★12月の主な行事★ ※変更されることもあります

2(火)生徒朝礼
3(水)各種委員会
4(木)②③歯科指導 (2年・特支)
9(火)3年三者面談 (~12日(金)まで)
19(金)給食最終日 保護者会 (1,2年・特支)
23(火)集会・学活・大掃除
24(水)2学期終業式
25(木)冬季休業 (~1月7日(水)まで)
29(月)閉庁日 (~1月3日(土)まで)

朝霞市教育委員会研究開発学校指定研究発表会

11月5日(水)に、本校で市内外の教職員を対象とした研究発表会を開催いたします。

本校の教職員が生徒への指導力を向上させることを目的に令和6・7年度の2年間研究した成果を発表します。

当日は、研究授業を公開するクラスのみ5時間授業を実施し、その他のクラスは4時間目終了後、給食、下校(部活動なし)となります。

ご理解とご協力をお願いします。

研究授業公開クラス

1年2組(国語) 1年6組(英語) 2年1組(社会)
2年4組(数学) 3年1・2組(男子のみ 体育)
3年7組(理科) 9・10組(自立活動)



令和7年度12月号

朝二中だより

朝霞市立朝霞第二中学校

令和7年12月1日発行

〒351-0007 朝霞市岡 199

電話(461)6540・fax(467)4742

中学校自由選択制度の結果が発表されました

校長 小石川 知治

先日、本市教育委員会より、新年度の入学生に係る中学校自由選択制度の結果が発表されました。本校は募集定員の10名に対し、13名の希望をいただき、定員枠を超えておりましたが、検討の上、全ての皆さんをお迎えできることとなりました。まずは多くの皆さんに本校を選んでいただきましたこと、心より感謝を申し上げます。

さて、申し込み期間中には本校の学校公開が行われており、私は授業の様子等を確認しながら、校内を回っておりました。その中で、本校の校区外にお住まいで、小学6年生のお子様をお持ちの保護者の方が声をかけてくださいました。その方は、周囲から聞こえてくるお話し等もあって来校されたものの、実際には落ち着いた感じで授業が行われている様子をご覧になり、違和感があったのかもしれない。本校の現状についてお尋ねになりました。私が可能な範囲で本校の現状について包み隠さずお伝えすると、その方は「校長先生がこのようにきちんとお話ししてくださる学校なら安心できます」と話され、「何かありましたらこちらに」と差し出した私の名刺を受け取ってくださった後、安心された様子で参観に戻られていきました。

今年、目指す学校像を「地域の中で 仲間とともに 家庭とともに 私らしく伸びる学校」としました。817名の生徒たちは、それぞれに個性を持った12才から15才の中学生です。失敗し、反省することもあります。時には失敗を繰り返してしまうこともあります。しかし、本校には学校だより10月号「二中を支える誇り高き教職員」で記した通りの「生徒を真ん中に据え、一致団結し、考え、動く」教職員がいます。生徒を思い、真剣に生徒に向き合う教職員がいます。

校区内の6年生の皆さん、そして、自由選択制度で本校を選んでくださった皆さん、皆さんの入学を心から楽しみにしています。一人一人が「私らしく伸びる」ことができる学校、皆さんの期待に応えられる学校づくりに懸命に励んでまいります。本校で心身ともに大きく成長し、最高の思い出を築いてください。

12月の行事予定

日	曜	行 事 予 定	給食
1	月		○
2	火		○
3	水	各種委員会	○
4	木	②③歯科指導 (2年・特支)	○
5	金	3年⑥カット	○
6	土		
7	日		
8	月		○
9	火	3年三者面談 生徒朝礼	○
10	水	3年三者面談 赤い羽根募金~16日まで	○
11	木	3年三者面談	○
12	金	3年三者面談	○
13	土		
14	日		
15	月		○
16	火		○
17	水	3年手話体験 (5・6校時)	○
18	木	定時退勤ウィーク(18日~24日)	○
19	金	給食最終日 保護者会 (1,2年・特支) 青少年健全育成パ^-	○
20	土		
21	日		
22	月	黒目川清掃	×
23	火	集会・学活・大掃除	×
24	水	2学期終業式 ふれあいデー	×
25	木	冬季休業日 (~1月7日(水)まで)	
26	金		
27	土		
28	日		
29	月	学校閉庁日	
30	火	学校閉庁日	
31	水	学校閉庁日	

★1月の主な行事★

※変更されることもあります。

- 8(木) 3学期始業式
- 9(金) 第3回南部テスト 給食開始
- 10(土) 11(日) 朝霞市図工美術展
- 13(火) 生徒朝礼
- 14(水) 各種委員会 ⑥避難訓練
- 15(木) 2年音楽鑑賞会
- 17(土) ふれあいフェスティバル (会場7小)
- 19(月)~21(水) 1年社会体験3Days
- 21(水)22(木) 9・10組職業科分校入試
- 22(木)23(金) 私立入試集中日 3年生4時間授業
- 31(土) 吹奏楽・器楽フェスティバル

性に関する講演会

11月6、7、11日、助産師 櫻井裕子 様を講師にお招きして「考えよう！見つめよう！性のこと」をテーマに、学年別で開催しました。保護者の方も交えながら、妊娠、出産、性病など、発達段階に応じた説明や質疑応答をとおして、「命の大切さ」「性行動のリスク」について考えを深めることができました。

★二中生の活躍！！

第70回朝霞市民総合スポーツ大会
ソフトボール秋季大会女子の部 優勝

朝霞支部科学教育振興展覧会

優秀賞
優良賞

第60回埼玉県郷土を描く児童生徒美術展

特選

入選

身体障害者福祉のための

第67回埼玉県児童生徒美術展覧会

特選

入選

第85回全国教育美術展

特選

入選

佳作

第15回朝霞美術部合同作品展

実行委員長賞

朝霞市読書感想文コンクール

入選

南部地区アンサンブルコンテスト

木管打楽器八重奏 銀賞

金管打楽器八重奏 銅賞

新人体育大会兼県民総合スポーツ大会

個人参加 水泳

女子自由形 50m、200m 第1位

女子個人メドレー100m 第1位

60周年記念制作 学校旗が完成しました

60周年記念式典でご紹介させていただき、保護者と教師の会からご寄贈いただいた「学校旗」が、作成していた京都の業者から送付され、11月18日(火)に学校まで届きました。



皆様へのお披露目は第60回卒業証書授与式となっております。

しれませんが、現在、校長室に飾っておりますので、お時間のあるときに、是非ご覧になってください。

学校×地域の未来を語ろう！

令和7年度

地域学校協働活動

実践交流会

令和8年

定員
60名

1月20日(火)

13:30 - 16:30

埼玉県県民健康センター

こんな課題、ありませんか？

- 活動がマンネリ化してきた。
- 他の地域では、どんな取組をしているんだろう？
- 学校と地域、もっと上手に連携するには？

埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

日頃の疑問・課題を共有し、活動の質を高める1日！

本セミナーで得られる3つのメリット

- ①活動の疑問を解消！
日頃抱える課題を共有し、理解を深めます。
- ②実践的な知見を獲得！
CSマイスターからの好事例紹介で、今後の活動に役立つヒントを得ます。
- ③持続的な展開へ！
参加者同士の交流を通じて、活動の質的向上と持続化を目指します。

講師

文部科学省総合教育政策局
CS推進名誉マイスター

竹原 和泉 氏

CSマイスター

朝倉美由紀 氏

お申し込みはこちらから

二次元コードまたは、URLから
1月5日(金)までをお願いします。



<https://forms.office.com/r/uqiRicQnxJ?origin=lprLink>

お問い合わせ

埼玉県教育局教育総務部
生涯学習推進課 地域連携担当
TEL : 048-830-6979
Email : a6975-05@pref. saitama.lg.jp



内容等について

持続可能な地域学校協働活動の実現に向けて

- ・地域学校協働活動に関する情報交換
- ・CSマイスターに聞いてみよう

こんな方に参加をお勧めします！



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

- ・活動の疑問や課題を専門家に相談したい方
- ・他地域の好事例を知り、活動を改善したい方
- ・地域と学校の活動に携わる方々とのネットワークを広げたい方

対象者

地域学校協働活動推進員
学校運営協議会委員
学校応援団コーディネーター
放課後子供教室コーディネーター
保護者
地域と学校の活動に関わっている方等

講師

文部科学省総合教育政策局
CS推進名誉マイスター

竹原 和泉 氏

CSマイスター

朝倉美由紀 氏

CSマイスターとは、文部科学省が委嘱する「コミュニティ・スクール推進員」のことで、地域と連携した学校づくりを支援する専門家です。文部科学省の推進する学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の一体的な実施に向けて全国各地を巡るお二人を講師にお迎えします。

参加申込み方法(手続きと注意事項)

STEP1: 申込みフォームへアクセス



二次元コードまたはURLからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/uqiRicQnxJ?origin=lprLink>

お申し込みはこちらから



お申込みは
1月5日(月)
まで！

STEP2: 必要事項を入力



【重要】申込時に、地域学校協働活動への取組内容や、疑問に感じていることや課題等について受け付けます。ぜひご記入ください。

開催1週間前までに受講決定通知を送付します。

開催3日前を目途に資料をホームページに掲載し、その旨を登録したメールに送付します。

当日、お気を付けて会場までお越しください。

資料に関するご注意

紙媒体による資料配布は行いませんので、必ずメールをご確認ください。

【会場】埼玉県県民健康センター 大会議室A・B
さいたま市浦和区仲町3丁目5-1
【アクセス】JR京浜東北線「浦和駅」下車 徒歩約15分
JR埼京線「中浦和駅」下車 徒歩約20分

主催 埼玉県教育局教育総務部
生涯学習推進課 地域連携担当

